

【基本情報】

教科	家庭	学年	1年	教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍311）
科目	家庭基礎	単位数 (年間予定コマ数)	2 (64)	副教材	オールガイド食品成分表2021（実教出版）
科目概要	「自分らしい人生をつくる」では自分自身の人生について見つめ、協力してつくる家庭生活や家庭と社会との関係について学びます。「子どもと共に育つ」「高齢社会を生きる」では、人に配慮した生活ができることを目指し、子どもや高齢者、障がいがある人を理解し、すべての人々がより良く生きることを考えます。「衣生活をつくる」「食生活をつくる」「住生活をつくる」「経済生活を営む」では生活を科学的に理解し、生活に応用できる技術を身につけます。				
到達目標	<p>①自分の生活を見直す力 自分自身のライフスタイルを生活時間、金銭管理、健康管理、環境管理などの面から見直し、実践できる。</p> <p>②適切な意志決定する力 生活を科学的に理解し、生活のあらゆる場面で適切に対応し、行動する力を身につける。</p> <p>③生活を実際につくっていく技術 手を使ってのものにはたらきかけ、目耳鼻舌など五感を使って実物にふれ、体験を通して応用できる生活技術を身につける。</p> <p>④家族や人々とかかわる力 家族や地域社会の人々とともに生きるために必要な知識とコミュニケーション能力、支援能力を身につける。</p>				
授業の進め方	授業形態は一斉とグループ学習。 基本的に、座学はホームルーム教室、実習は調理教室・被服室へ移動。				
留意事項	教科書、ノート、A4版ファイル（家庭基礎用）、食生活分野では食品成分表を準備する。 調理実習時はエプロン、三角巾、ハンカチ、ティッシュ、実習記録プリント、ペンのみ持参する。 自分自身の生活と関連づけるとともに、他者ともつながりながら学習する。 実習中は安全面に留意し、グループで協力し、能率良く作業を進める。 家庭生活と社会の関わりを理解するため、新聞・ニュースに関心を持つ。 マナーを守り、けじめある態度で授業に臨む。				
家庭学習	毎日の生活そのものが学習です。身の回りで起こっていることや、困っていること、良くしたいことなどの問題を挙げ、解決のための計画・実践が家庭科の学習を発展させていきます。毎回の授業を大切に、提出物を確実に出すこと。				
備考					

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	20%	課題学習の提出物、提出状況、実習に臨む態度
B. 思考・判断	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などについて見直し、課題見つけ、その解決を目指して思考を深めている。	20%	定期考査、課題学習の提出物
C. 技能・表現	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	30%	被服製作品、調理実習、視聴覚教材視聴後のレポート
D. 知識・理解	人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。	30%	定期考査
E.		%	

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価					到達目標
			A	B	C	D	E	
第1章 自分らしい人生をつくる	13	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭基礎を学ぶにあたって ・自己概念を高めよう ・自立について ・赤ちゃんが減っていく ・結婚相手はどんな人 ・ジェンダー ・性別役割分業意識 ・家族とは？ ・女も男も「仕事も家庭も」 ・働くということ ・夫婦別姓を導入すべきか ・これからの自分を考える 	○	○	○	○	○	<p>今までの自分を客観的に振り返り、肯定的な自己概念を持って自己紹介ができる。</p> <p>キャリア教育と関連させ、これからの自分を考える。</p> <p>少子化の原因を理解し課題解決の方法を考える。</p> <p>固定的な性別役割分業意識を見直し、よりよい男女関係や家庭生活について考える。</p> <p>家族に関する基礎的な法律を知り、民法についての規定をめぐる論議でなにが問題なのか課題意識持つ。</p> <p>家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考える。</p> <p>自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意志決定を自分で行うことの大切さや考え方を理解する。</p>
第2章 子どもと共に育つ	7	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんのからだ ・子どもに絵を描いてもらおう ・乳幼児保育の意義 ・児童虐待 ・子どもが育つ環境 ・出生前診断をどう思う？ 	○	○	○	○	○	<p>乳幼児期の心身の特徴と発達について理解する。</p> <p>子どもは、親や保育者と強い愛着関係で結ばれ、周りの人々とのかかわりの中で育つことを理解する。</p> <p>虐待や育児不安の事例を通して、原因及び解決について考える。</p> <p>生命倫理上の課題から、自他の生命尊重について考えを深め自己の意志決定に基づき、責任を持った行動することを自覚する。</p>
第3章 高齢社会を生きる 第4章 共に生き、共に支える	6	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を学び地域を支える ・高齢社会の将来像 	○	○	○	○	○	<p>日本の高齢社会の現状を把握する。</p> <p>高齢者の心身の特徴を知る。</p> <p>高齢者を支える仕組みを理解する。</p> <p>高齢社会の課題を知り、地域社会の一員としての役割を考える。</p>
前期期末考査	1							
第6章 衣生活をつくる	14	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の起源 ・制服の役割 ・衣服材料の種類と特徴 ・洗濯の科学・衣服の選択 ・基礎縫い ・エプロン製作 	○	○	○	○	○	<p>被服は何のために着るのか、被服は生活活動にどのように役立っているのか理解する。</p> <p>健康で安全、快適な衣生活を送るため、賢く被服を選択し、衣服を取り扱うことができる。</p> <p>基礎縫いを習得し、調理実習で使用するエプロンを製作することができる。</p>
第7章 住生活をつくる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活をデザイン 	○	○	○	○	○	<p>住居の機能やライフステージごとの住要求を理解し、住計画を立てることができる。</p>
第5章 食生活をつくる	14	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の食は豊かか ・5大栄養素のはたらき ・何をどれだけ食べるのか ・調理実習 ① ピザ ② 親子どんぶり 吸い物 ③ 青椒炒牛肉糸 清湯三糸 ④ ロールケーキ 	○	○	○	○	○	<p>食をめぐる課題について気付き、よりよい食生活を実践できる。</p> <p>栄養素のはたらきを知り、食品成分表を活用して、栄養計算をすることができる。</p> <p>調理することで食べ物になることを理解し、調理技術を身につける。</p> <p>配膳・盛りつけの方法を身につけ、心豊かな食事の演出を心がける。</p>
後期末考査	1							
第8章 経済生活を営む	4	<ul style="list-style-type: none"> ・家計のしくみ ・卒業後の生活設計 ・社会への扉 	○	○	○	○	○	<p>収入と支出の実態を知り、ライフステージ全体を見通して、収入を計画的に使えるようにする。</p> <p>現代の消費生活の特徴を理解し、自立した消費者を目指す。</p>
総予定授業コマ数	64							